

を刻んで らしいまちづくりを



市長 小畑 元

輝かしい二十一世紀の幕開けを迎えました記念すべき年に、大館市が市制施行五十周年を迎えられたことを市民の皆様とともに心から喜びたいと存じます。

昭和二十六年四月一日、大館町と釈迦内村が合併して誕生した大館市は、今まさに五十年目という節目のときを迎えました。人口三万五十六人、当時日本で最も小さな市が、北東北の中核拠点都市を目指すまでになった今日を思うとき、大きな感慨が脳裏をよぎります。

市制施行間もなくからの四度に及ぶ大火や暴風雨による大水害、基幹産業である農林業・鉱山の衰退など、市民の皆様にはそれぞれの時代の、その時々のお思いが胸に刻まれておられることと存じます。

こうした幾多の困難を克服され、現在の大館を築き上げていただきました。多くの先達のご熱意とご苦労は筆舌に尽くしがたいものがあります。ここに改めて深甚なる感謝の意を捧げたいと存じます。

今地方公共団体は、かつて先人が経験したものと異なった厳しい時代に直面しております。この厳しい時代を乗り越えて、明日の大館の進むべき道を切り開いていくことこそ、現代に生きる私たちの責務であると考えているところであります。

大館市の限らない未来を確信し、市民の皆様とともに誇りと愛着のもてる街づくりを進めてまいりたいと存じますので、今後、一層のご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。